

トビタテ！留学 J A P A N 「拠点形成支援事業」

令和 8 年度「和歌山から世界へ！わかやま海外留学

応援プログラム」壮行会 祝辞

日本学生支援機構グローバル人材育成企画課の松田でございます。

本日はトビタテ！留学 J A P A N 「拠点形成支援事業」を推進している文部科学省及び日本学生支援機構を代表して、御挨拶申し上げます。

まず初めに、地域協議会代表の今西（いまにし）教育長をはじめ、和歌山県の経済界、教育機関の関係者の皆様におかれましては、事業立ち上げから今日まで御尽力をいただいたことに、深く敬意を表しますとともに、壮行会の開催にお祝いを申し上げます。

トビタテによる留学支援は 2013 年から全国の支援企業等から寄附をいただいて始まり、これまで多様なグローバル人材の育成に努めてきました。

2023 年からは、より若い時期の海外経験を将来の留学に

繋げるため、高校段階からの留学を強化することとし、その一環で、この「拠点形成支援事業」が始まりました。

この事業は、地域の産学官が協働し、地域において持続性のある高校生等への留学支援の取組の構築と、地域にイノベーションを起こすグローバル探究リーダーの育成を目指す新たな取り組みです。

和歌山県における本事業の関係者の皆様におかれましては、1年目の派遣から採用予定人員を大幅に上回る41人の応募者を集め、本日21人の第1期生が壮行会に集うまでに至ったこと、改めて感謝申しあげます。全国から応募を受け付けるトビタテのプログラムでは、これまで和歌山県からの高校生の採用者は10年間で31人に留まっていたところ、1年で和歌山県内各地の高校等からこれだけの人数を海外に送り出し、帰国後にその経験を和歌山県内各地で友人や後輩に伝えていくことは、今後の和歌山県のグローバルな人材育成に絶大な効果を与えるものと期待しているところです。

引き続き皆様とともに和歌山県の人材育成と留学機運の醸成に微力ながら協力していきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

派遣留学生の皆さんおめでとうございます。

トビタテのプログラムは、留学を通じて成長するだけでなく、留学前、留学後の研修、さらには約1万人を超える同窓会組織を通じて、留学後も仲間や先輩と繋がり続け、成長し続けていくことができることに特長があります。

皆さんが参加された6月20、21日の事前研修はいかがでしたでしょうか？全国から集った多様な仲間や先輩から刺激を受け、皆さんの留学計画や活動実績を振り返るのはもちろんのこと、そこで出来た繋がりがこれからの進路選択等を考えることが出来たでしょうか？

本日は和歌山県の拠点形成支援事業の第1期生の事前オリエンテーションということで是非、和歌山県内の生徒のみなさんで多くの人とつながっていただければと思います。

さて、留学は、楽しいことばかりでなく、むしろうまくいかないことも多いと思いますが、それを含めて貴重な経験になりますが、気負わずに、取り組んでいただければと思います。

目標に向けて、小さいことでも諦めずに実行し、挑戦を続けることが大切というのが多くの先輩が語るところです。

最後に、お願いします。本プログラムは地域の人材の成長を願う支援企業や篤志家の御支援により成り立っています。皆さんが成長する機会としていただくことはもちろんですが、帰国後には、皆さんの経験を和歌山県内の多くの人に伝え、皆さんに続いて留学を志す仲間や後輩を増やして行って下さい。そうして和歌山県の将来を担うグローバルな人材の輪が広がっていくことが、この事業を支援してくれた地域の皆さんの思い、和歌山県の発展、ひいては日本の将来を切り開いていくことを期待しています。

まずは、今日の事前オリエンテーション、さらには留学を経て成長した皆さんと事後研修や成果報告会で再会できることを楽しみにしています。